

2024 年度全国通訳案内士試験
第2次口述試験対策＜2次セミナー＞（第2講）

2024 年度第2次口述試験ガイドライン

2024 年度第2次口述試験ガイドライン は、2023 年度と同じで、下記の通りです。なお、下記の赤字部分は、新「通訳案内士法」が施行された 2018 年度より新たに付け加えられた変更点です。

【1】試験方法

- (1)試験は、総合的な外国語の能力並びに日本地理、日本歴史、一般常識及び通訳案内の実務に係る正確な知識を活用して行われる、通訳案内の現場で必要とされる コミュニケーションを図るための実践的な能力 について判定するものとする。
- (2)試験を受けることができる外国語は、受験者が筆記試験において選択したものと同一のものとする。
- (3)試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いもの を題材として、受験者に通訳案内の業務を擬似的に行わせることにより実施するものとする。
- (4)試験時間は、10 分程度とする。
2013 年～2014 年のガイドライン⇒「8 分程度」と記載。
2015 年～2019 年のガイドライン⇒「10 分程度」と記載。（一人 10 分刻みで 1 時間に 6 組）
2020 年～2023 年のガイドライン⇒「10 分程度」と記載。（一人 12 分刻みで 1 時間に 5 組）
- (5)終了者からの問題の漏洩を避けるため、当該時間帯の間、終了者を未受験者と別の部屋に待機させ、通信機器を預かる等の措置を取るとともに、時間帯によって大きな差が出ないように質問内容のレベルを合わせるなど、受験者間で不公平が生じないような方法とする。
- (6)内容は、
 - ①試験委員が読み上げる日本語を 外国語訳 し、その問題文に関連した質疑を行う「通訳案内の現場」で必要となる知識等に関する外国語訳及び全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑」、
 - ②提示される3つのテーマから受験者が1つを選び、外国語で説明を行い、そのテーマについて試験委員と外国語で質疑応答を行う「プレゼンテーション問題」の2題とする。

なお、「通訳案内の現場」で必要となる知識等に関する 外国語訳 及び全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑において、試験委員が読み上げる問題内容については、メモ を取ることを認める。

2013 年～2017 年（5 年間） ①＜通訳問題＞ ⇒②＜プレゼン問題＋質疑＞

2018 年～2023 年（6 年間） ①＜プレゼン問題＋質疑＞ ⇒②＜外国語訳問題＋質疑＞

- (7)「**通訳案内の現場**」が必要となる知識等に関する外国語訳及び全国通訳案内士として求められる対応に関する**質疑**」については、試験委員に対して、受験者は **全国通訳案内士としての適切な受け答え** をすること。

【2】合否判定

合否判定に当たっては、試験委員ごとに基準が大きく異なることがないよう、あらかじめ以下を含む評価項目について、**具体的な評価基準** を設定しておくものとする。合否判定は、当該合格基準点(原則として**7割**)に達しているか否かを判定することにより行う。

【3】評価項目

- (1)プレゼンテーション
- (2)コミュニケーション(臨機応変な対応力、会話継続への意欲等)
- (3)文法及び語彙
- (4)発音及び発声
- (5)**ホスピタリティ**(全国通訳案内士としての適切な受け答え等)(2018年度から追加された)

【4】合否判定基準の変遷のまとめ

(1)2013年～2015年(3年間)

上記の評価項目(1)～(4)について、下記の5段階評価(5点満点)を行い、評価点が**3点～5点**が合格、1点～2点が不合格とされた。4つの評価項目の中で、1項目でも1点～2点があれば、総合判定で不合格とされた。日本人、外国人試験官の評価が異なる場合は、両者の協議により合否が決定された。

5点(合格)	:Excellent	2点(不合格)	:Poor
4点(合格)	:Very good	1点(不合格)	:very poor
3点(合格)	:Good		

(2)2016年～2017年(2年間)

上記の評価項目(1)～(4)について、合格基準点(原則として**6割**)が合格とされた。

(3)2018年～2023年(6年間)

上記の評価項目(1)～(5)について、合格基準点(原則として**7割**)が合格とされた。

(4)受験者は、合否判定基準を気にする必要はない。

受験者としては、合格基準点が7割になろうが、あまり気にすることなく、直面する質問に神経を集中させて全力を尽くせばよい。

【5】「ガイドライン」の三つの変更点のまとめ(2018年度から)

(1)「通訳問題」が「外国語訳+質疑」になったこと

2017年度では「通訳」とされた問題が、2018年度から『試験委員が読み上げる日本語を外国語訳し、その問題文に関連した質疑を行う「**通訳案内の現場**」が必要となる知識等に関する**外国語訳**及び全国通訳案内士として求められる対応に関する**質疑**』になったこと。

(2)合格基準点が7割になったこと

2013年～2017年度まで**6割**だった合格基準点が、2018年度から**7割**になったこと。

(3)評価項目にホスピタリティが加わったこと

2017年度までの4項目に、2018年度から「**ホスピタリティ**(全国通訳案内士としての適切な受け答え等)」が加わり、**合計5項目**になったこと。

【6】「通訳問題」(2013年～2017年)を「外国語訳+質疑」(2018年以降)に変更した理由

「通訳問題」を<外国語訳>に変更した理由について、関係者に話を聞くと、下記のような理由でした。

- (1) 全国通訳案内士試験は、プロ通訳と同等レベルの通訳技能を求めているわけではない。
- (2) これまでの「通訳問題」では、プロ通訳の厳密な逐次訳を求められているような印象を受験者に与えるので、「通訳問題」を<外国語訳>に名称変更した。
- (3) 但し、<外国語訳>だからと言って、大まかな訳で良いということではなく、**できる限り、正確で分かりやすい訳が望ましい**ことは言うまでもない。

受験者は、上記を前提にした心構えで、準備をすること。

【7】「プレゼン+質疑」

「プレゼン+質疑」については、特に変更はありませんが、大前提が「**通訳案内の現場**」で求められる<プレゼン>能力が問われるということなので、受験者は、様々な**通訳案内の現場**で想定される<プレゼン>の準備が必要です。

【8】「プレゼンテーション+質疑」と「外国語訳+質疑」

要するに、受験者は、従来の4項目の評価項目に加えて、**ホスピタリティ**を意識しながら、合格基準点 **7割**獲得を目指して、「プレゼンテーション+質疑」と「外国語訳+質疑」の準備をする必要があるということです。

【9】「プレゼンテーション」で受験者が選択したテーマ

2022年度と2023年度に出題された三択の「プレゼンテーション」のどれを受験者は選択したのか、を各年度の<2次レポート>を分析してまとめてみると下記のようにになりました。

「日本の事象英文説明 300選」をよく勉強している受験者の皆さんは、「**300選**」に掲載のある**項目テーマを選択したことが判明しました。**

●2023年度<2次レポート>提出者(76名の分析)

- 【10:00～11:00】 兼六園(5)、人形浄瑠璃(3)、合気道(0)
- 【10:00～11:00】 盆踊り(7)、有田(佐賀)(1)、甘酒(0)
- 【11:00～12:00】 桜前線(2)、熊野古道(1)、カプセルトイ(1)
- 【11:00～12:00】 熱田神宮(3)、祝儀袋・不祝儀袋(1)、もんじゃ焼き(0)
- 【13:00～14:00】 二条城(4)、風呂敷(3)、元号(1)
- 【13:00～14:00】 寺子屋(4)、富岡製糸場(2)、線香花火(0)
- 【14:00～15:00】 桃の節句(12)、伊豆諸島(1)、猛暑日(0)
- 【14:00～15:00】 そば(4)、関ヶ原の戦い(2)、八十八夜(0)
- 【15:30～16:30】 雑煮(3)、厄年(2)、ヘルプマーク(0)
- 【15:30～16:30】 箸(5)、小倉百人一首(1)、国立西洋美術館(0)
- 【16:30～17:30】 稻荷神社(6)、日本の国立公園(0)、コミックマーケット(0)
- 【16:30～17:30】 琵琶湖(1)、御神酒(1)、ジェンダーフリーの制服(0)

2023年度<2次レポート>

<https://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/da5462d961c95080568219ca09ce421a>

●2022 年度<2次レポート>提出者(106名の分析)

- 【10:00～11:00】 門松(7)、接客ロボット(1)、中山道(0)
- 【10:00～11:00】 お守り(11)、計画運休(2)、鳴門海峡(0)
- 【11:00～12:00】 わさび(9)、海女さん(2)、金の鯨鋒(0)
- 【11:00～12:00】 道の駅(9)、漆塗り(3)、線状降水帯(1)
- 【13:00～14:00】 西九州新幹線(8)、俳句(4)、なまはげ(0)
- 【13:00～14:00】 おみくじ(7)、佐渡金山(0)、古民家(0)
- 【14:00～15:00】 床の間(3)、中華街(2)、恵方巻(0)
- 【14:00～15:00】 たい焼き(5)、グランピング(1)、白河の関(0)
- 【15:30～16:30】 杉玉(2)、小笠原諸島(2)、セルフレジ(2)
- 【15:30～16:30】 借景(4)、赤飯(2)、竿燈祭り(0)
- 【16:30～17:30】 1人カラオケ(4)、麴(3)、山寺(0)
- 【16:30～17:30】 うどん(8)、豊洲市場(3)、大安吉日(0)

2022 年度<2次レポート>

<https://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/a326cde70444de77ccbb5ef8927b4ff6>

【9】<ガイドマニュアル>

「通訳案内の現場」で求められる<プレゼン>能力とホスピタリティがどのようなものかを知るためには、下記の <ガイドマニュアル>に優る教材はありません。

<ガイドマニュアル>(富士山・箱根)

<http://www.hello.ac/manual.fuji.pdf>

<ガイドマニュアル>(日光)

<http://www.hello.ac/manual.nikko.pdf>

<ガイドマニュアル>(鎌倉・横浜)

<http://www.hello.ac/manual.kamayoko.pdf>

<ガイドマニュアル>(通訳案内の現場で必要とされるトラブル対応方法)

<http://www.hello.ac/troubleshooting.pdf>

以上